

農業・農村基盤図製品仕様書Ver.0.5(素案) 修正履歴(8/18~9/14)

修正日	現在の頁数	項目	区分	内容	修正概要	修正内容
2006/8/30	P1	1.1 空間データ製品仕様書の作成情報	題名	題名の修正	名称を修正する。	「農業・農村基盤図製品仕様書(Ver.0.5)」 「農業・農村基盤図製品仕様書Ver.0.5(素案)」に修正
2006/8/30	P2	1.7 略語		項目の削除	項目を削除する。	「1.7 略語」を削除する。
2006/8/30	P7	農地	クラス図	管理コード	型を修正する。	「管理コード」「CharacterString」に修正
2006/8/30	P7	農地	クラス図	農地と耕区の間連(耕作区域)	多重度を修正する。	耕区多重度[1..*][0..*]に修正
2006/8/30	P8	農業用排水施設	クラス図	市町村コード	名称を修正する。	「市町村コード」「市区町村コード」に修正
2006/8/30	P8	機場	クラス図	原動機動力	型を修正する。	「Integer」「CharacterString」に修正
2006/8/30	P8	貯水池	クラス図	属性追加	属性を追加する。	「取水施設備考」「放流施設備考」を追加
2006/8/30	P8	水路	クラス図	ステレオタイプ	内容を修正する。	ステレオタイプを「Abstract」「Feature」に修正
2006/8/30	P8	水路付帯施設	クラス図	ステレオタイプ	内容を修正する。	ステレオタイプを「Feature」に修正
2006/8/30	P8	水路付帯施設	クラス図	形状	型を修正する。	「形状:GM Primitive」「地点:GM Point」に修正
2006/8/30	P10	農地	属性	範囲	記述を修正、図を追記する。	・取得基準の記述を「農地の外側」「農地の外形」に修正 ・略図を追記
2006/8/30	P10	農地	属性	大字コード、小字コード	記述を修正する。	「附属書1 コード対応表」「全国町・字ファイル((財)国土地理協会)」に修正
2006/8/30	P10	農地	属性	地番・枝番・子番	記述を修正する。	「半角数字とし、数字と数字の間は詰めて記述する。」 「半角数字とする。」に修正
2006/8/30	P11	農地	属性	登記簿面積	記述を修正する。	「0以上の実数で、小数点以下2桁までとする。」「0以上の実数とする。」に修正
2006/8/30	P11	農地	属性	元資料コード	記述を修正する。	仕様書でコード表を削除し、附属書で記述
2006/8/30	P11	農地	属性	農地と耕区の間連(耕作区域)	多重度および記述を修正する。	・多重度[1..n][0..n]に修正 ・「農地上の一つ以上の耕区。」「農地上の耕区。」に修正
2006/8/30	P11	耕区	属性	範囲	図を追記する。	略図を追記
2006/8/30	P12	耕区	属性	管理コード	多重度および記述を修正する。	・多重度[1][0..1]に修正 ・「農地の管理コード」「農地の中で代表となる農地の管理コード」に修正
2006/8/30	P12	耕区	属性	耕区コード	記述を追記する。	・「都道府県コード、市区町村コード、大字コード、小字コード、耕区番号から構成される」を追記 ・定義域に「都道府県コード2桁、市区町村コード3桁、大字コード3桁、小字コード3桁、耕区番号3桁とし、これを順に並べて14桁のコードとする。なお、各桁数に値が足りない場合は、右詰めとし、足りない桁部分は0埋めとする。」を追記
2006/8/30	P12	耕区	属性	所有者コード、耕作者コード	多重度を修正する。	多重度[1][0..1]に修正
2006/8/30	P12	耕区	属性	元資料	記述を修正する。	仕様書でコード表を削除し、附属書で記述
2006/8/30	P13	農業用排水施設	属性	施設コード	記述を追記する。	・「都道府県コード、市区町村コード、土地改良区コード、系統番号、施設区分、施設番号から構成される、16桁の施設の管理コード。」に修正 ・定義域に「都道府県コード2桁、市区町村コード3桁、土地改良区コード2桁、系統番号3桁、施設区分2桁、施設番号4桁とし、これを順に並べて16桁のコードとする。なお、各桁数に値が足りない場合は、右詰めとし、足りない桁部分は0埋めとする。」 土地改良区コードは、土地改良区運営実態調査で用いられる2桁のコードとする。管理主体となる土地改良区の場合入力を行い、それ以外は「99」とする。 ・系統番号は、農業基盤整備基礎調査における3桁のコードとする。 ・施設区分は、以下の2桁のコードとする。」を追記(表は省略)
2006/8/30	P13	農業用排水施設	属性	施設名称、用排区分、系統区分、基幹水利施設コード、農業水利ストック施設コード	属性の並びを修正する。	入力必須である施設名称、用排区分を4番目、5番目とし、系統区分、基幹水利施設コード、農業水利ストック施設コードを6番目、7番目、8番目に修正する。
2006/8/30	P13,14	農業用排水施設	属性	用排区分、系統区分	記述を削除する。	定義域「コード対応表「~コード」を参照。」を削除
2006/8/30	P14	農業用排水施設	属性	基幹水利施設コード	記述を追記する。	・「農業基盤整備基礎調査における基幹水利施設に該当する場合、入力する。」を追記 ・定義域に「~コード内容は、農業基盤整備基礎調査に従うものとする。」を追記 ・「農業水利ストック情報データベースにおいて施設に付与された、局コード、都道府県コード、国県区分、事業コード、施設番号から構成される、13桁の施設の管理コード。」に修正
2006/8/30	P14	農業用排水施設	属性	農業水利ストック施設コード	記述を追記する。	定義域に「局コード2桁、都道府県コード2桁、国県区分1桁、事業コード4桁、施設番号4桁とし、これを順に並べて13桁のコードとする。なお、各桁数に値が足りない場合は、右詰めとし、足りない桁部分は0埋めとする。」
2006/8/30	P14	農業用排水施設	属性	ファイリングコード	記述を追記する。	・「都道府県コード、市区町村コード、土地改良区コード、施設区分、路線系統番号、施設番号、ファイリング番号から構成される、18桁のファイリングを行うための識別コード。」に修正 ・定義域に「都道府県コード2桁、市区町村コード3桁、土地改良区コード2桁、施設区分2桁、路線系統番号2桁、施設番号4桁、ファイリング番号3桁とし、これを順に並べて18桁のコードとする。なお、各桁数に値が足りない場合は、右詰めとし、足りない桁部分は0埋めとする。」を追記
2006/8/30	P15 ~	農業用排水施設を継承する地物	属性			継承する各地物においても上述の修正を反映
2006/8/30	P16	頭首工	属性	地点	記述を修正、図を追記する。	・取得基準の修正(「あるいは敷地境界」の中心付近) ・略図を追記
2006/8/30	P17	機場	抽象/具象区分		記述を修正する。	「具体」「具象」に修正
2006/8/30	P19	機場	属性	機場種別	記述を削除する。	定義域「コード対応表「~コード」を参照。」を削除
2006/8/30	P19	機場	属性	地点	記述を修正、図を追記する。	・取得基準の修正(「あるいは敷地境界」の中心付近) ・略図を追記
2006/8/30	P20	貯水池	抽象/具象区分		記述を修正する。	「抽象」「具象」に修正
2006/8/30	P22	貯水池	属性	地点	記述を修正、図を追記する。	取得基準の修正 ・構造物(貯水池)の外形内の中心付近を点で取得する。 ・堤体が存在する場合は、堤体の中心付近を取得する。 ・堤体が複数存在する場合は、より面積の大きい堤体を選択する。 ・堤体が存在しない場合は、水張り面の中心付近を取得する。」を追記 ・略図を追記

農業・農村基盤図製品仕様書Ver.0.5(素案) 修正履歴(8/18~9/14)

修正日	現在の頁数	項目	区分	内容	修正概要	修正内容
2006/8/30	P23	貯水池	属性	ため池防災施設コード	記述を修正する。	他の施設コード同様に記述
2006/8/30	P23	貯水池	属性	直接流域面積	記述を修正する。	「を示す」を削除
2006/8/30	P24	貯水池	属性	洪水吐備考	記述を修正する。	「洪水吐の」、「洪水吐に関する」に修正
2006/8/30	P24	貯水池	属性	属性追加	属性を追加する。	「取水施設備考」、「放流施設備考」を追加
2006/8/30	P24	貯水池	属性	放流施設形式・放流量	記述を修正する。	「貯水池の」、「ダム・調整池における」に修正
2006/8/30	P25	貯水池	属性	ため池区分	記述を追記する。	「かんがい用水を貯留する目的で築造された貯水池をため池とする。」を追記
2006/8/30	P25	貯水池	属性	ダム区分	記述を追記する。	「流水を貯留する目的で築造する高さ15m以上の貯水池をダムとする。」を追記
2006/8/30	P25	貯水池	属性	調整池区分	記述を追記する。	「取水量、通水量、用水量の需要量の調整を図る目的で設置する貯水池を調整池とする。」を追記
2006/8/30	P25	貯水池	属性	ため池区分、ダム区分、調整池区分	記述を修正する。	「-に該当する場合には"1"、該当しない場合は"0"を記述する。」 「-に該当する場合は"true"、該当しない場合は"false"とする。」に修正
2006/8/30	P27	水門等	属性	地点	記述を修正、図を追記する。	・取得基準の修正(あるいは敷地境界)の中心付近) ・略図を追記
2006/8/30	P27	水門等	関連	水路と水門の関連(付帯施設(水門))	記述を修正する。	「付帯施設(水門等)」、「付帯施設(水門)」に修正
2006/8/30	P28	水路	抽象/具象区分		記述を修正する。	「抽象」、「具象」に修正
2006/8/30	P29	水路	属性	場所	記述を修正、図を追記する。	・取得基準の修正 「構造物(水路)の外形内(あるいは敷地境界)の中心付近を線で取得する。」 ・データは、大きな分水、属性内容の変化点にて区切ることを基本とする。 ・遮蔽物・埋設等により判読ができない場合は、その他の判読ができる資料が存 在する場合にこれ を元に取得し、存在しない場合は概略位置を取得する(品質は問わない)ものとする。」を追記 ・略図を追記
2006/8/30	P30	水路	属性	水路形式区分	記述を削除する。	定義域「コード対応表「~コード」を参照。」を削除
2006/8/30	P30	水路	関連	水路と水門の関連(付帯施設(水門))	記述を修正する。	「付帯施設(水門等)」、「付帯施設(水門)」に修正
2006/8/30	P32	水路付帯施設	属性	地点	型を修正する。 記述を修正、図を追記する。	・「形状:GM_Primitive」、「地点:GM_Point」に修正 ・取得基準の修正(あるいは敷地境界)の中心付近) ・略図を追記
2006/8/30	P33	水路付帯施設	属性	付帯施設分類	表を追記する。	付帯施設の詳細項目表(修正)を追記する。
2006/8/30	P37	集水渠	属性	地点	記述を修正、図を追記する。	・取得基準の修正「構造物(集水渠)の外形内」 「取水箇所」に修正 ・略図を追記
2006/8/30	P39	管理施設	属性	地点	記述を修正、図を追記する。	・取得基準の修正(あるいは敷地境界)の中心付近) ・略図を追記
2006/8/30	P42	農地	品質	完全性 過剰	項目内容を修正する。	耕区と区分し、重複以外の過剰は許可する記述に修正
2006/8/30	P44	データ集合全体	品質	論理一貫性 概念一貫性	記述を修正する。	「幾何要素」、「幾何要素(GM_Surface、GM_Curve、GM_Point)」に修正
2006/8/30	P44_45	データ集合全体	品質	論理一貫性 全般	項目内容を修正する。	「XML文書」、「別途規定する符号化規則で定義する文書」に修正
2006/8/30	P46	農地	品質	論理一貫性 位相一貫性	項目を削除する。	品質項目「隣接する農地の位置関係が正しいこと」を削除
2006/8/30	P46	農地	品質	論理一貫性 位相一貫性	項目を削除する。	品質項目「耕区は必ず農地上に存在すること」を削除
2006/8/30	P46	農業用排水施設	品質	論理一貫性 位相一貫性	項目を修正する。	「参照データは、とす。監督員。」 「参照データは、監督員。」に修正
2006/8/30	P46	農地	品質	位置正確度 絶対正確度	記述を修正する。	適合水準「水平位置の標準偏差:0m(完全一致)」に修正
2006/8/30	P46	耕区	品質	位置正確度 絶対正確度	記述を修正する。	・元資料記述(「またはこれを用い作成した入力基図)を追記 ・適合水準「0.75m(図上0.3mm)」、「0.75m以内」に修正
2006/8/30	P47	農業用排水施設	品質	位置正確度 絶対正確度	記述を修正する。	・元資料記述(「またはこれを用い作成した入力基図)を追記 ・適合水準「図上0.3mm」、「0.75m以内」に修正
2006/8/30	P47	農地	品質	位置正確度 相対正確度	記述を修正する。	・「資料コードが22から58までの場合、45を除く」下線部を追記する。 ・評価尺度「データ集合と参照データの形状の相似性を示す尺度を規定し、~」 「データ集合と参照データの形状の相似性を示す尺度を必要に応じて整備団体にて規定する。」(以降は例)に修正
2006/8/30	P52	9 その他			記述を追記する。	新規整備するデジタルオルソおよび数値地形図の要件を追記
2006/9/13	P24	貯水池	属性	26:規模	記述を削除する。	・全文削除 「規模 [0..1] : Real ため池における規模。単位は「m」とする。定義域 0以上の実数とす
2006/9/13	P15 ~ P40	農業用排水施設	パッケージ	農業用排水施設パッケージに含まれる各クラスの記述順序	記述の順序を修正する。	・各クラスの記述の順序をP13「施設区分」の順番に従うよう修正。 (旧)頭首工、機場、貯水池、水門等、水路、水路付帯施設、集水渠、管理設備 (訂)貯水池、頭首工、水門等、管理設備、機場、水路、集水渠、水路付帯施設
2006/9/14	P46	農業用排水施設	品質	論理一貫性 位相一貫性	記述を修正する。	・監督員が指定する資料を修正 「地図情報レベル2500(または5000)のデジタルオルソ等」 「地図情報レベル2500(条件により5000)のデジタルオルソ等」
2006/9/14	P46	耕区	品質	位置正確度 絶対正確度	記述を修正する。	・デジタルオルソを用いる場合の、監督員が指定する資料 を修正 「地図情報レベル2500(条件により5000)のデジタルオルソ等」 「地図情報レベル2500のデジタルオルソ等」
2006/9/14	P47	農業用排水施設	品質	位置正確度 絶対正確度	記述を修正する。	・監督員が指定する資料を修正 「地図情報レベル2500の地形図」 「地図情報レベル2500(条件により5000)の地形図」

農業・農村基盤図製品仕様書Ver.0.5(素案) 意見対応状況

受付日	番号	意見項目			意見内容	事務局回答	
8/24	1	国土地理院	農地	品質 適合品質水準 (位置正確度)	データ品質(品質要求及び品質評価手順)の表のうち、 『位置正確度 > 絶対正確度 > 農地(元資料コードが11から14までの場合) > 適合品質水準』について、 『水平位置の標準偏差: ±0m』との記述は適切か再検討せよ。	再検討の結果、適切と判断。  なお元資料(公共測量座標による筆界データ)変換においては、座標値の完全一致を明示するため『水平位置の標準偏差: 0m(完全一致)』と追記。	
8/28	2	水士里情報 企画推進部会メンバー	農地	属性	登記簿面積	登記簿面積以外の面積属性を記述する属性項目を作るべきでないか?	新たな属性項目は作らず、別DBとのリンクでシステム上にて対応予定。
3	農業用排水施設		属性	施設コード	施設コードを構成する内容として、取水源および排水口を記載できる属性項目が必要ではないか。	検討が必要である。	
4			属性	施設コード	施設コードの26桁が長すぎるので不要では?	要不要について引き続き検討を行う。	
8/29	5	研究会メンバー	農地	属性	枝番、子番	定義域が半角数字となっているが、文字の場合がある。	文字列で表現するか、数値(半角数字)やアルファベット(半角英字)に変換して表現することも考えられるので、検討を行う。
6				属性	所有者コード	共有者の取り扱いはどうするのか。 農地の所有者コードと重複するのではないか。	現状では、既存のDBとの連携での対応を考える。(代表者のみを対象とする。) 耕区の存在する場所を明示させるため持たせている。 ただし、耕区データを単独で整備する場合があります、詳細な地番が不要(不明)な場合があるので、検討を行う。
7			耕区	属性	所有者コード		
8				属性	耕作者コード	共有者の取り扱いはどうするのか。	現状では、既存のDBとの連携での対応を考える。(代表者のみを対象とする。)
9			頭首工	属性	形式	コード区分のほうが良いのではないか。	事業計画書への文字で記述する項目内容を入力できるようにしているため、文字列(CharacterString)としている。
10			機場	属性	機場形式		コード区分による検索への利用を含め、検討を行う。
11				属性	原動機形式		
12				属性	原動機動力		
13				貯水池	属性	堤体形式	
14			属性		洪水吐形式		
15			属性		取水施設形式		
16			属性		放流施設形式		
17				属性	ため池区分 ダム区分 調整池区分	種別コードで1つの項目にした方が良いのではないか。	定義上、ため池+ダム、ため池+調整池である貯水池が考えられるため、複数種別としてフラグを立てることができる内容としている。現在の定義に問題がある場合、検討を行う。
18			水門	属性	形式	コード区分のほうが良いのではないか。	前述と同じ。
19				属性	構造	コード区分のほうが良いのではないか。	前述と同じ。
20			水路	属性	事業名	年度、地区は別項目。	今のところ文字型での自由記述を考えている。必要に応じて、項目追加の検討を行う。
21			属性	構造	コード区分のほうが良いのではないか。	前述と同じ。	
22		集水渠	属性	構造	コード区分のほうが良いのではないか。	前述と同じ。	
23			属性	規模	コード区分のほうが良いのではないか。	前述と同じ。	
8/31	24	一般	農地	属性	所有者情報	農地データに所有者名が必要	現行の考え方としては、農地データに持たせるべき多くの属性項目の中から、必要最低限のみ定義した。それ以外の属性項目は別途データベースを準備し、農地属性との関連性で補完するとの考えである。
	25		耕区	属性	所有者コード	耕区データに所有者コードは不要	今後検討を行う。
9/7	26	研究会メンバー	データの構造及び内容	パッケージ	農業用排水施設パッケージ	例えば、水門等と水路が付帯施設(水門)として結ばれているが、この関係(関連役割)がよく分からない。施設の連続性や関連性を意味するとすれば、頭首工と水路にも同様の関係があるのではないか。	ご指摘の通り。現行では関連性を全て網羅していないため、今後ver.0.6を目途に、何処まで地物間に関連性を持たせるか検討を行い、必要な修正を施す予定。
	27		農業用排水施設	属性	8.農業水利ストック情報コード	各桁数が足りない場合とはどのような場合を想定して記載されているのか。また、当該施設とコードの整合をどのようにとるのか。	各桁数が足りないとはコードの桁数が定義域の桁数に満たない場合のことである。入力する者は当該施設に対応する水利施設コードを確認して入力する必要がある。
	28		各工種	属性	施設諸元に関する属性情報	各工種の諸元情報について、事業計画書の主要工事計画に記載されている情報を基本としているため、農業水利ストック情報データベースの情報と各属性情報の整合は図らないという理解でよいのか。	各地物の属性は、各利用分野に必要な属性情報を全て保持させることはできないため、利用頻度の高い全国共通的な情報や、農業関係機関が利用するデータベースとの連携に必要な情報に限定している。
	29		機場	属性	13.容量 ~ 21.原動機台数	機場に異なる揚水機がある場合に、それぞれ入力可能か。	現在のところ複数の揚水機場の情報を格納できる仕様ではないため、今後利用方法を踏まえ引き続き検討を行う。
	30		貯水池	属性		P13の施設区分の順番と記載順が違うには何か理由があるのでしょうか。見難いのではないか。	P13の施設区分の順番に従い、修正した。(9/13)
	31		貯水池	属性	26.規模	ため池における規模(単位m)とは何を指すのか。	再検討の結果、削除した(9/13)

農業・農村基盤図製品仕様書Ver.0.5(素案) 意見対応状況

受付日	番号	意見項目		意見内容		事務局回答	
9/7	32	研究会メンバー	水門等	定義	定義	堰上げをせず河川からの自然取水する目的で設置する取水用水門は、事業計画では頭首工と思われる。事業計画書記載例において、頭首工の項に取水水門のみの場合は...との説明がある。ところが、ストック情報データベースも同様整理であり、基礎調査も水門としていると思われるが、今回もこれに基づいたものか、実際にこのような施設がどれほどあるは不明であり、何か問題となるかも不明です。	今後定義の明確化へ向け検討を行う。
			管理設備			管理設備は、いずれか又は全体の農業水利施設に付帯する設備であるが、各施設との関連役割はないのか。(関連役割がよくわかりませんが)	ご指摘の通り。現行では関連性を全て網羅していないため、今後ver.0.6を目途に、何処まで地物間に関連性を持たせるか検討を行い、必要な修正を施す予定。
			管理設備	属性	12.構造	管理設備の構造とは、上屋の構造でしょうか。	当該属性項目含め、今後属性項目の再検討を行う。
			管理設備	属性	13.規模	管理設備の規模とは、上屋の建坪でしょうか？	
管理設備	属性	14.数量	管理設備の数量とは子局の数か？単位もないためよくわかりません。				
9/7	37	一般	農地 / 耕地	定義	定義	筆の形状を地図情報とし、所在と所有者及び耕作者を対象として下記の2タイプ情報を整理することになっています。  登記簿の筆の所在地、面積、所有者(登記簿の情報) 見た目の筆と耕作者(畦畔で囲まれた範囲)  とを分けて整理(管理)するのは、営農面からは理想的な感もあるが、情報収集の手間とメンテナンスが煩雑になるため、その必要性和考え方を確認しておきたい。	意見における：農地は一筆をベースとした情報であり、：耕地は耕作上の最小単位との位置づけ。双方とも利用用途が有り必要性が求められたため、製品仕様書の範囲に含めたものである。但し情報収集の手間及びメンテナンスの煩雑化を鑑み、属性項目については今後更なる検討を行っていく。
			農地	属性	農家コード	所有者と耕作者は農家コードを登録するようになっているが、農家コードの元となる台帳については定義(記載)されていない。	農家コードの元となる台帳については、様々な機関が様々な台帳を用い、一つの台帳であってもコードが統一化されていない事例も考慮し、現状では明確な定義を行っていない。今後引き続き検討を行う。
			農業用排水施設	属性		施設の基礎調査として、これまで実施されてきた調査項目に位置情報(地図情報)が加わった程度の整理項目となっています。 この仕様で実際に情報を整理しようとした場合、項目別に具体的な例を示さないと、成果物の精度がばらついてしまうことが予想されます。 例)水路の区分：幹線、支線、小水路、承水路...の区分方法 頭首工の取水量：慣行・許可の値 or 実測、減水深からの概算値  全国の実態調査としては、この製品仕様(整理項目)は有効だと思いますが、基盤図としてこれらの項目をメンテナンスし利用できる状態(信頼性)を維持していくことはかなり大変だと思います。 実際に、この基盤図データを用いて、登録された施設の管理を支援するシステムを構築する場合、情報の整備レベルの問題から既存情報(基盤図)は見直し(再調査)して不足する情報を付加することになると思います。 メンテナンスの状況によっては、継続的に基盤図として提供する項目を限定することも考えられます。	ご指摘の通り、本製品仕様書に準拠したデータ精度の均質化、及び恒久的な情報のメンテナンスを考慮し、引き続き属性項目等の検討を行っていく。